

調書1 補助金等調査表（チェックシート）

所属 保健体育安全課

（1）補助金の内容

名 称	浦安市立学校県大会・関東大会・全国大会出場補助金		
交 付 開 始 年 度	平成10年度	終了予定年度	
交 付 先	浦安市立小中学校の部活動で県大会・関東大会・全国大会に出場する個人・団体及び浦安市小・中学校部活動指導者派遣事業において派遣されている指導者（以下、部活動外部指導者）※交付決定等は学校に対して行う。		
交 付 の 目 的 ・ 必 要 性	部活動の成果が結実し、県大会・関東大会・全国大会の出場権を勝ち得た栄誉を賞賛し、部活動の益々の活性化を進める。		
対 象 事 業 の 内 容	市立小・中学校の部活動に所属する児童・生徒及び部活動外部指導者が県大会・関東大会・全国大会に出場する際の交通費及び宿泊費を補助する。		
形 態	☒ 事業補助 ☐ 運営補助 ☐ 混合補助 ⇒ 割合が大きいのは ☐ 事業補助 ☐ 運営補助		
直 近 の 見 直 し 状 況	見直した時期	見直しなし	
	内 容		
交 付 申 請	受領書類	■ 事業計画書 ■ 収支予算書 ■ その他（交付申請書、大会要項、出場選手名簿、見積書）	
	確認内容	交付申請書・事業計画書・予算書等において、事業目的、事業計画、予算額等を確認することにより、補助金交付に係る妥当性を判断している。	
実 績 報 告	受領書類	■ 実績報告書 ■ 収支決算書 ■ その他（事業報告書、領収書）	
	確認内容	実績報告書・事業報告書・決算書等において、事業成果、事業内容、決算額等を確認することにより、補助金支出に係る適正さを判断している。	

補助金等調査表（チェックシート）

（２）補助金見直しの基本視点に基づく評価

（※具体的な根拠指標には、設問に対する評価根拠となる、成果等を示す数値的な指標を記載すること）

公益性	補助事業が、客観的に見て、より広く市民等に利益をもたらす、または還元されている。	評価 特定の個人又は集団に利益をもたらす	評価の理由・具体的な根拠指標 補助の対象が市立小・中学校の部活動に所属する児童・生徒及び部活動外部指導者であることから、部活動に所属している児童・生徒等に限られる。
	補助事業の目的が、時代や社会情勢に合っている。	評価 ほとんど合っている	評価の理由・具体的な根拠指標 子どもの体力低下、生活習慣病の低年齢化等の社会情勢から、部活動の活性化を進める補助金の交付には意義があると考えられる。
必要性	補助金を交付する形で、市が関与する妥当性がある。	評価 ある	「ある」→妥当性について記入。 「ない」→妥当性がないにも関わらず補助する理由を記入。 部活動は市立中学校の教育活動の一環であるため、妥当と考えられる。
	補助金がない場合、団体等は自主財源で事業を行うことができない。	評価 できない	「できる」→自主財源で事業実施可能にも関わらず補助する理由を記入。 「できない」→補助金がないれば事業を実施できない理由・具体的根拠を記入 部員が交通費及び宿泊費を自己負担すれば、県大会等への出場は可能であるが、その場合、経済的な理由から県大会等へ出場できない児童生徒が出てくることが考えられる。
	市民ニーズが高いものである。	評価 高い	評価の理由・具体的な根拠指標 部員保護者の経済的負担を軽減することは、好況感に乏しい社会情勢において、市民ニーズが高いと判断される。
	市民ニーズに即している。	評価 即している	評価の理由・具体的な根拠指標 部員保護者の経済的負担を軽減することは、好況感に乏しい社会情勢において、市民ニーズに即していると判断される。
	補助金の意義について、的確に説明できる。	評価 できる	「できる」→誰に対しどのような効果があるか等について記入。 「できない」→説明できない理由について記入。 部員保護者の部活動に伴う経済的な負担を軽減する効果がある。
	補助期限（終期）を設定している。	評価 未設定	「設定済」→設定年度とその根拠を記入。 「未設定」→設定しない理由と今後の見通しを記入。 学校部活動という性質から継続的な補助が必要であるため、終期は設けていない。
	補助金申請に係る積算根拠が明確である。	評価 はい	「はい」→積算根拠を何で確認しているかを記入。 「いいえ」→積算根拠が不明確である理由と今後の見通しを記入。 補助金申請の際に提出される大会要項、出場選手名簿、見積書により適切な申請処理が行われているか確認している。

補助金等調査表（チェックシート）

施策との整合性	当該補助金は、市の政策目的や施策と整合している。	評価	「している」→どのような点で整合しているのか記入。 「していない」→整合していないにも関わらず補助する理由を記入。
		している	当事業の目的である部活動の活性化と、基本計画の施策である「魅力ある学校づくり」とが示す方向性は、十分に合致しているといえる。
	補助事業が本市の特性を生かした取り組みである。	評価	「はい」→どのような点で特性を生かしているのか記入。
		いいえ	
公平性	事業を実施できる団体が他にない。（複数存在する場合、当該補助金がその事業者だけに交付される合理的な理由がある。）	評価	「はい」を選んだ理由
		はい	支部予選の結果として当該学校が上位大会の出場権を得ていることから、他は大会に出場できない。
			「いいえ」の場合、補助金がその事業者だけに交付される合理的理由を記入。
	補助対象経費に対して、補助事業者等にも応分の負担を求めべき事業には、一定の適切な補助率や限度額が設定されている。	評価	「設定済」→補助率とその根拠を記入。 「未設定」→設定しない理由と今後の見通しを記入。
		未設定	補助率は設定していないが、交通費は経済的かつ合理的な経路及び方法における運賃を対象とし、宿泊費は1人1泊あたりの上限額を設けている。
効率性	補助目的に見合った成果や、施策実現に向けた効果がある。	効果の測定方法・具体的な根拠指標	
		部活動加入者数及び県大会の出場者数等から部活動が活性化しているか確認する。	
		評価	評価理由
		十分効果をあげている	相当数の部活動加入者及び県大会の出場者等を確保していることから、部活動の活性化において補助額に見合う効果があると認められる。
	手法として、委託等の手法よりも、補助金を交付することがより合理的である。	評価	評価の理由・具体的な根拠指標
		はい	部活動は、教育活動の一環として、教育課程との関連が図られるよう留意する必要があることから、学校に補助金を交付することがより合理的であると考えられる。
補助対象経費の明確化	補助金対象内外経費が明らかになっているか。	評価	「はい」→何で確認をしているか記入。 「いいえ」→明確にしていない理由を記入。
		はい	浦安市立学校県大会・関東大会・全国大会出場補助金交付要綱及びその内規において規定されている。
	補助対象外経費を補助対象としていない。（対象としている場合は、明確な根拠を持っている。）	評価	「対象としている」の場合、費目及びその根拠規定と対象となる考え方を記入。（※費目とは、飲食費や慶弔費など）
		対象としていない	

補助金等調査表（チェックシート）

（３） 国県要綱・近隣市補助金との比較を通じた評価

近隣市の市川市・船橋市において同様の補助事業を行っており、部員保護者の経済的負担を考慮すると、今後も現行どおりの実施を継続する必要があると考えられる。
また、全国中学校体育大会への出場については、千葉県小中学校体育連盟より補助が受けられるが、片道相当額の補助であるため、その分を控除した額を補助する必要がある。

（４） 補助金の課題

特記事項なし

（５） 所属長の総合評価

同補助金は、部活動における上位大会に出場する際の経費を補助することにより、出場した生徒等に対する賞讃を通じて、部活動を活性化することができる。また、部員保護者の経済的負担を軽減することにより、部活動に加入する生徒を相当程度確保することを可能とし、これにより部内に部員同士が互いに高め合う環境がつくられ、県大会等への出場部活動の更なる増加にもつながるといった好循環の維持が期待できる。以上より、今後も現行どおりの実施を継続する必要があると考えられる。

（６） 補助金の今後の方向性

☒ 現行のまま継続 ☐ 見直しをしたうえで継続 ☐ 廃止 ☐ その他	現行継続の理由 学校及び保護者からの部活動の助成に対する要望が強く、現行水準での継続が必要と考えられる。
☐ 見直しをしたうえで継続	見直しの時期 見直しの内容
☐ その他	廃止の時期 廃止の理由

その他の内容